



※広島市青少年野外活動センター・こども村は、持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

広島市青少年野外活動センター・こども村では、開設以来、家庭や学校では得難い体験活動の場を提供することにより、「仲間づくり」や「自然を大切にし、自然と共に生きる力」などを育てています。さらに、広島市が国際平和文化都市として SDGs に取り組んでいることを受け、豊かな自然環境の中で、青少年の人間形成にとって必要とされる、様々な体験活動を通じて SDGs の目指す目標（持続可能な社会の実現）について意識しながら、仲間と共に学べる機会になるように取り組んでいます。

野外活動センター・こども村ではSDGsの取り組みを進めています



SDGs とは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で 2030 年度までに地球全体で達成すべき国際目標のことです。当施設の活動プログラムや生活は、まさに SDGs そのものです。

自然豊かな環境の中、のびのびと行う SDGsにつながる活動例

「焼き杉」



「焼き杉」の活動を通じて、自然素材の性質や加工について学ぶと共に、ものをつくり出す喜びを味わいながら、天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用の達成に近づけたり、自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つことにつなげたりすることができると思っています。



「農業体験」



「農業体験」の活動を通じて、農業に親しみを感じ、米や農作物について関心を持つことで、食についても考えていく気持ちを育てながら、安全かつ栄養のある食料の確保や持続可能な食糧生産システムの確保につなげていくことができると思っています。



※その他、具体的なプログラム内容については「活動プログラム集」をご覧ください。

野外活動センター・こども村での生活における SDGs につながる行動

SDGs と聞くと、何か難しく、身近なことに感じられないと思うかもしれませんが、実は私たちの生活に直結する目標が多く、ちょっとした心がけや行動がより良い未来につながっています。

当施設では、私たち一人ひとりが日常生活の中で「無理のない範囲でできることを続けていく」ことを目標に、以下のような行動を呼びかけています。SDGs を施設で体験する教育的な機会としてとらえてみてはいかがでしょうか。



みんなと協力して仲良く過ごそう！

男女の区別なく、互いに認め合ってだれとでも協力して、仲良く過ごす。

水を大切にしよう！

手を洗うときは、水を出しっぱなしにしない。
野外炊飯では、汚れをふき取ってから洗い流す。



節電を心がけよう！

部屋を出るとき、炊飯場やトイレなどその場を離れるときは電気を消す。

ごみを減らそう！

食べ残しがないようにする。
分別のルールを守って指定された場所にごみを捨てる。



自然を大切にしよう！

草花や昆虫などの生き物をむやみに取らない。